

各



会長	副会長	庶務理事	会計理事	事務局長
次長	課長	課長代理	係長	担当
中澤	中澤			岡林

令和7年12月吉日

黒潮医療人養成プロジェクト

事業責任者 井上 啓史
(高知大学医学部長)

特任教授 矢野 有佳里

黒潮医療人養成プロジェクト 第4回合同シンポジウムのご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」により、高知大学・和歌山県立医科大学・三重大学が連携して進めております『黒潮医療人養成プロジェクト』の合同シンポジウムを開催する運びとなりました。

三大学の立地する各県は、高い高齢化率、人口減少、県庁所在地から遠隔地における医療提供体制の確保などといった共通の課題を抱えております。さらに、近い将来に予測されている南海トラフ巨大地震に際しては、深刻な津波被害が想定され、災害医療への対応が求められています。

こうした地域のニーズに応え、医療状況を把握し、問題解決に取り組む意欲を備えた医療人を育成することは、大学の使命と考えております。

つきましては、同封のチラシをご高覧いただき、貴施設内への掲示等により関係者の皆様にご周知いただけましたら幸いに存じます。

本シンポジウムは、医学生をはじめとする大学関係者だけでなく、地域医療機関の皆様や地域医療に关心のある高校生・中学生・地域の皆様どなたでも参加いただけます。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

記

1. 日 時 令和8年3月14日(土) 14:00~17:00
2. 場 所 高知市文化プラザ かるぽーと 龍馬学園イベントホール
(高知県高知市九反田2-1)
3. 開催方法 会場&Zoomによるハイブリッド開催
4. 申込方法 以下のURLまたはQRコードからお申込みをお願いいたします。
<https://forms.office.com/r/ssTTkxQn5R>
5. 申込締切 令和8年3月4日(水)



以上

問い合わせ先
高知大学医学部・病院事務部 総務企画課
地域医療支援室
黒潮医療人養成プロジェクト
Tel : 088-888-2744
Mail : kuroshiodmp@kochi-u.ac.jp

地域から、日本の医療の未来を描く



黒潮医療人養成プロジェクト 第4回 合同シンポジウム

2026.3.14 土

14:00-17:00 受付開始
13:30~

オンライン参加OK ハイブリッド形式

参加費
無料

会場：高知市文化プラザ カルボート 龍馬学園イベントホール（小ホール） 高知県高知市九反田2-1

プログラム

- 特別講演
高山 義浩 氏（沖縄県立中部病院 感染症内科 地域ケア科）
- 参加型防災クイズプログラム
- 取組事例報告
プロジェクト参加学生の発表 など

対象

大学生・教職員、地域医療機関の皆様
高校生・中学生・保護者、県民の皆様
本プロジェクトに関心のある方

お申込はこちらから

本シンポジウムはハイブリッド形式で開催します。
会場でのご参加・オンラインでのご参加のどちらかお選びいただけます。

お申込期限 2026.3.4 水

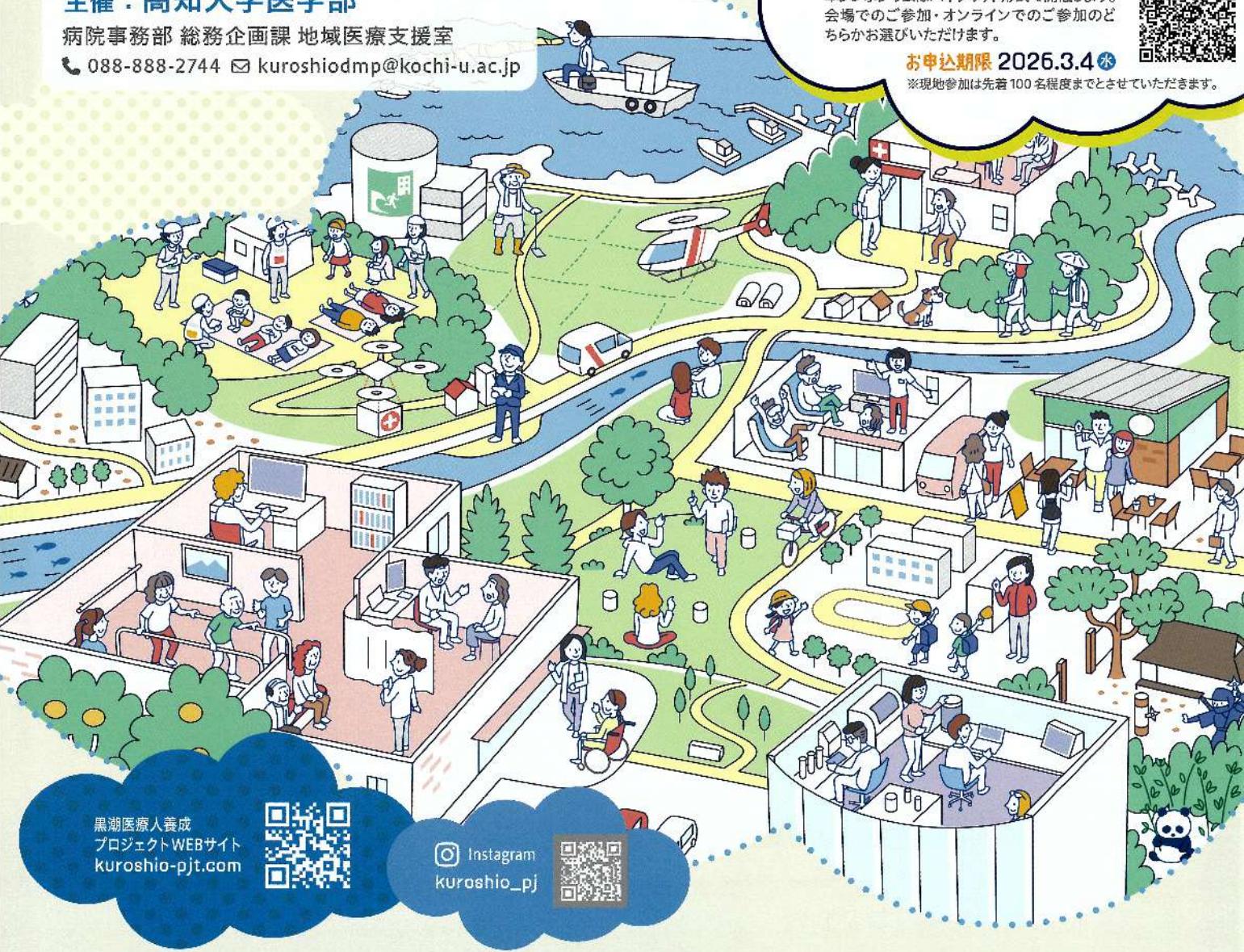
※現地参加は先着100名程度までとさせていただきます。



主催：高知大学医学部

病院事務部 総務企画課 地域医療支援室

088-888-2744 kuroshiodmp@kochi-u.ac.jp



黒潮医療人養成
プロジェクトWEBサイト
kuroshio-pjt.com



Instagram
kuroshio_pj



黒潮医療人養成プロジェクトとは？

大きな転換点を迎えた日本の医療。

その最前線は、患者さんのいちばん近くにある地域医療です。

本プロジェクトでは、過疎高齢化や遠隔地の医療確保、将来の南海トラフ地震被害など多くの課題を共有する高知大学、和歌山県立医科大学、三重大学が協働し、

地域拠点病院での実習やICT学習を低学年から展開することで、

新時代の地域医療人材の養成を目指します。



第4回 合同シンポジウム プログラム内容

14:00	開会 オープニングムービー上映	
14:05	主催者挨拶 高知大学医学部長 井上 啓史（黒潮医療人養成プロジェクト事業責任者）	
14:10	ご祝辞 高知県知事 濱田 省司 様	
14:15	特別講演 『ポストパンデミックの地域医療を考える 培われた地域連携の未来図』 講師：高山 義浩 氏（沖縄県立中部病院 感染症内科 地域ケア科） 座長：高知大学医学部 家庭医療学講座 教授 阿波谷 敏英	
15:25	休憩	
15:35	参加型防災クイズプログラム 『もしもの日を、今日考える。』 進行：高知大学医学部 危機管理医療学講座 特任教授 西山 謹吾	
16:05	休憩	
16:15	取組事例報告 プロジェクト参加学生による発表	
16:50	次回開催地挨拶（三重大学）	
16:55	閉会挨拶 高知大学学長 受田 浩之	
17:00	閉会	

特別講演 講師紹介

高山 義浩 氏

沖縄県立中部病院
感染症内科 地域ケア科



東京大学医学部保健学科卒業後、フリーライターを経て、2002年に山口大学医学部医学科を卒業。九州医療センターなどを経て、2010年より沖縄県立中部病院で感染症診療に従事。また同院に地域ケア科を立ち上げ、急性期や終末期を含む在宅医療にも取り組んでいる。行政面では、厚生労働省にてパンデミック対策や地域医療構想の策定支援に従事。現在は内閣府規制改革推進会議の専門委員として制度改革に携わる。地域医療から国際保健、臨床から政策まで、幅広い視点から医療の未来を見据えた活動を続けている。

お問合せ先

高知大学医学部 病院事務部 総務企画課 地域医療支援室
電話：088-888-2744 メール：kuroshiodmp@kochi-u.ac.jp
プロジェクトWEBサイト <https://kuroshio-pjt.com>



黒潮医療人養成プロジェクト



地域から、日本の医療の未来を描く



黒潮医療人養成プロジェクト 第4回 合同シンポジウム

2026. 3.14 土

14:00-17:00 受付開始
13:30~

オンライン参加OK ハイブリッド形式

参加費
無料

会場：高知市文化プラザ カルボート 龍馬学園イベントホール（小ホール） 高知県高知市九反田2-1

プログラム

- 特別講演 高山 義浩 氏（沖縄県立中部病院 感染症内科 地域ケア科）
『ポストパンデミックの地域医療を考える 培われた地域連携の未来図』
- 参加型防災クイズプログラム『もしもの日を、今日考える。』
- 取組事例報告
プロジェクト参加学生の発表 など



高山 義浩 氏

沖縄県立中部病院 感染症内科 地域ケア科
東京大学医学部保健学科を経て山口大学医学部
を卒業。沖縄県立中部病院で感染症診療と在宅
医療に携わり、厚生労働省ではパンデミック対策
や地域医療構想に関与。現在は内閣府の専門委
員として制度改革を推進し、臨床と政策の両面か
ら医療の未来を見据えている。

対象

大学生・教職員、地域医療機関の皆様
高校生・中学生・保護者、県民の皆様
本プロジェクトに関心のある方

お申込はこちから

本シンポジウムはハイブリッド形式で開催します。
会場でのご参加・オンラインでのご参加のど
ちらかお選びいただけます。

お申込期限 2026.3.4 水

※現地参加は先着100名程度までとさせていただきます。



黒潮医療人養成
プロジェクトWEBサイト
kuroshio-pjt.com



Instagram
[kuroshio_pj/](https://www.instagram.com/kuroshio_pj/)



主催：高知大学医学部

病院事務部 総務企画課 地域医療支援室

088-888-2744 kuroshiodmp@kochi-u.ac.jp